

広島県連合小学校長会から『新たな風を！』

県連小速報

令和7年度 No 3

9月18日発行

広島県連合小学校長会事務局
広島市東区光町一丁目 11-5-1003
TEL082-263-6381 FAX082-262-3822
E-Mail: kenrensho@do8.enjoy.ne.jp



県連小第3回理事会を開催



第3回理事会は、9月3日(水)午後1時半から、東区民文化センターで開催されました。



開会に先立って、広島県西部教育事務所 学校経営相談員 竹下 比登美 様から、「教職員への指導の在り方」と題して指導講話をいただきました。講話をいただくにあたり、各理事の悩み等を事前に出していただき、より現状に即した内容のご講話をいただきました。さらに、今回の理事会でも、小グループ協議を行い、お互いの実践から学び合う機会

を設けました。講話については「もっと早く、今日の話を聴きたかった」「端々に実践へのヒントがあった」などの感想も出されました。



講話の後、教育弘済会広島支部長 河野 一則 様から本校長会への30万円の研究助成金の贈呈式を行いました。こちらは、予算案の「補助金・助成金」の費目に示していたものです。



今年度も申請したところ承認されました。会員の減少等で収入減が続く
中、このような助成金がいただけることは大変ありがたく、有効に活用させて
いただいています。

1 広島県連合小学校長会教育研究大会北部大会について

今年度の教育研究大会は、これまでの県連小の歴史の中で、最も早い時期に
開催する大会、そして、たった13名の校長会が主管する大会ということでき
わめて厳しい条件の中での開催する大会でした。私は、県連小の役員として、
また事務局長として様々な大会に関わらせていただいた者として、少人数で
の準備・運営は、厳しいだろうなと思い、幹事が運営に携わってもいいですよ
とご進言しましたが、それも無しで、市教委の大きなバックアップのもと、三
次市小学校長会、教育研究委員、近隣小学校の教頭先生の力を借りながら、細
部にわたり心配りがされた見事な運営で大きな成果を収められ、成功裡に終
了しました。

実は、この大会に向けた取組は、昨年度の東部大会の前日準備から始まって
おり、小原智子北部大会現地実行委員長と佐々木理佳教育研究副委員長（当時
は委員）が東部大会の前日準備からその様子を見学、その後、東部大会実行委
員会と緊密な連携をとり、綿密な計画を作成されました。それをもとに個々の
校長先生が決められた役割を果たすだけでなく、相互に協力し合い成功裡に
導いたと思います。

写真は、終了後に高尾副会長が現地のスタッフにお礼のあいさつを述べら
れているところです。

運営に携わっていただ
いた関係の先生方に心か
ら感謝いたします。

また、貴重な発表をして
いただいた提案の先生方、
司会、記録の先生方、あり
がとうございました。



2 「小学校教育の充実に関する文教施策及び予算について」

全連小の植村前会長は「つながり」「学び」「国に声を届ける」の3つの柱を掲げてきました。そして、松原新会長は、「これらは今後の活動の羅針盤となる。」と表現されました。

そして、県連小も「つながり」「学び」「県に声を届ける」。こんな活動を進めています。「県に声を届ける」ため、今年度も広島県教育委員会に対して標題の要望書を提出、意見交換を行います。各種調査等をもとに関係委員会、幹事会で案を作り、今回の理事会に諮ったところです。どんな要望をどのように伝えるか検討を重ね、要望書は年々充実していると感じます。

県教委は、要望書の記載内容や意見交換会で出された意見を受け止め、実現に向けた努力をしてくださっています。

今年度も、要望書作成のための調査を行った教育調査委員会、人事給与委員会の委員長も意見交換に出席するとともに、教育委員会からも関係課長様にご出席いただき、現場の声をより詳細にお伝えするように努めています。



3 全連小対策・調研担当者連絡協議会について

10月30日(木)、福岡市において開催されます。内容は、次の通りです。

対策部会（教育調査委員長 尾道市立山波小学校 宇江裕明校長）

- ①特別部会の審議を踏まえて、学校における働き方改革や処遇改善について
- ②教員不足の状況と、教員の確保・質の向上の取組について

調査研究部会（人事給与委員長 呉市立昭和北小学校 香川隆太校長）

- ①教員の資質向上に向けた取組について
- ②学習指導要領全面实施5年目に係る取組状況と課題について

この連絡協議会は全国を3地区に分けて毎年開催されます。出席する二人の委員長様はテーマにそって全連小から依頼のあった質問について、事前に2枚のレポートにまとめ、それをもとに協議に臨みます。

その内容は委員会で報告するなど、校長会に還元されています。

4 9月以降の不祥事防止対策重点目標

理事会の中で開催する不祥事防止対策特別委員会において、不祥事防止アンケートの県連小分の結果分析をもとに協議を行いました。

管理職の意識を問う項目について、いずれの数値も高い数値になっているなど、取組の成果が表れている項目が多かった半面、設問 28「欲求や感情をコントロールし、円滑な人間関係を築いていく力を高めさせる取組を行っている」の評定数値が低く改善が見られないという課題が明らかになりました。

また、年度の早い段階でチェックリスト項目を確認し、チェックリストの実施を行うことで自らを振り返るなど、不祥事根絶に向けた取組のサイクルを示して、取組の実施を促したにも関わらず、「教職員がアンケートやチェックリストなどを用いて自己を振り返り、それをもとに自主的に行動規範をつくっていく取組を行っている。」の設問において、あまり改善が見られませんでした。

そこで県連小としましては、今年度 12 月までに次のことについて取り組むこととしました。

令和 7 年度《後半の取組》

「教職員がチェックリストなどを用いて自己を振り返り、それをもとに自主的に行動規範をつくっていく取組」を再度行う。

県連小事務局から

◎ 令和 8 年度の学校数の見込みについて

令和 8 年度予算作成のため来年度の学校数を調べています。現在のところ、今年度より 2 校減で、全県では 433 校、広島市を除くと 293 校になる見込みです。

◎ 来年度(令和 8 年度)の主な行事予定

県連小第1回理事会	4月17日(金)	東区民文化センター
県連小総会・研究大会	5月14日(木)	県民文化センター
全連小総会	5月22日(金)	東京都
中国地区広島大会・県連小福山大会	11月20日(金)	福山市
全連小北海道大会	10月1日(木)・2日(金)	札幌市